

バイオ計測技術が生み出す膨大なデータから、役に立つ知見を見つけるには、データを解析するテクニックが必要となります。表計算ソフト上で気合と根性と膨大な時間を使って行ったデータ処理が、Pythonというプログラミング言語を覚えれば、あっという間に終わります。Pythonは、バイオインフォマティクス技術を活用したデータマイニング、AIの活用への近道です。そこで本講座はデータ解析の必要に迫られた大学院生、研究者を対象に、学生チューターに助けをもらいつつ自習用教材を用いて、Pythonを使う基礎を学びます。また、少人数でのハンズオンセミナーを行い、課題解決へPython活用法を実践します。今回は生物工学分野の学生、および社会人を対象として行います。

- **日時**：2019年8月23日（金）13:00～18:00
- **場所**：大阪大学産学共創A棟1階セミナー室(吹田キャンパス)
⇒ [アクセスマップはこちら](#)
- **募集人数**：16名
- **対象**：生物工学分野の大学院生、研究者
- **内容**：
Python上でのプログラミング基礎（変数、リスト、辞書、if文、for文）
モジュールのインポート
数値データファイルの読み込み
統計解析（t検定、階層化クラスタリング）
データファイルの書き出し
- **参加費**：（資料代）学生4千円、社会人8千円/人
（教育効果を高めるため2名のグループでの参加を推奨します。また資料作成にご協力をお願いします。）
- **持ち物**：Windows10が入ったノートパソコン、USBメモリ
（事前にPythonのインストールを行ってからご参加ください。）
- **申込**：2019年7月31日（火）までに1）参加希望者名、2）所属、3）メールアドレス、4）電話番号、5）Pythonで解析したいテーマ（必須）を記入したメールを下記までご送付ください。
- **申込・問合せ先**：
〒565-0871
大阪府吹田市山田丘1-5
大阪大学大学院情報科学研究科 バイオ情報計測学講座
松田 史生
[E-mail](#) TEL:06-6879-7433

プログラム

自習形式。教材をもとに自分で学習。わからないところはチューターに聞く。

- 13:00～ Python上でのプログラミング基礎
- 14:00～ 統計解析、RNASeqデータ解析（選択）

- 15:00～ ハンズオンセミナーで各自の課題をクリアしてみる。
- 18:00～ 情報交換会

⇒ [バイオ計測サイエンス研究部Topへ](#)